

第17回菊池市人権フェスティバル特選作品

【作文の部】

「わたしが平和のために出来ること」

隈府小学校6年 山内あおい

私は、長崎の修学旅行で被爆者である八木道子先生の話を聞きました。

八木先生は初めに、「原爆投下から七十七年。いつか最後の被爆者が亡くなりましたというニュースが流れるでしょう。でも、今日みなさんに平和のバトンを渡します。長崎で学んだことを必ず伝えてください」と言われました。そして、原爆被害や戦争中の暮らしについて話してくださいました。

私が一番心に残っていることは、戦争中は食べ物がなく、毎日あまくないかぼちゃで、本当に苦しかったことです。私は、毎日当たり前のように、「ごはん、みそ汁、サラダ、飲み物、デザートなど食べられているけれど、今の生活は昔じゃ考えられないということに気づかされました。だから私は、今色々な物が食べられているということに感謝して、ご飯一つぶ、食べ物一かけらも残さずに食べようと誓いました。

また、「戦争はしたらだめではなく、始めたらだめ」という言葉も心に残っています。戦争は始めたらキリがないし、たくさん人の命をうばいます。今、世界で起こっている戦争も、初めはすぐ終わるだろうと思っていたけれど、今でも続いています。核兵器を使うかもしれないとも言われています。また長崎のようにすべてがうばわれてしまうことが絶対にあってはならないと思いました。長崎は、七十七年前の十一月二六分まではいつも通り過ぎていたけれど、三分が来ませんでした。たった一発の原爆がすべてをうばいました。八木先生は、「今の平和をみんなが守ってほしい。まわりの友達を大切にすることが、平和への近道だ」と言われました。

私は友達を大切にしているか考えました。私は、人権学習をした時、友達が、「自分も同じようなことがあった」と言ったことを思い出しました。友達は周りから避けられて嫌な思いをしたと言いました。

私は、友達の話聞いて、自分のしていたことをふり返りました。実は、私も友達を避けたことがあ

【問い合わせ先】
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209



【ポスターの部】ともだちいっぱい
戸崎小学校1年 むちまりよう

ります。今、考えると、何ておかしかったらだめだろうと思えます。私はそのことを伝えました。伝える時は不安だったけど、伝えてよかったです。伝えたいこと、自分も変わりたいし、みんなも自分のことを考えてくれたからです。私は、友達を大事にするということ、おたがいを信じたい合言葉、本当の気持ちを伝える関係になることだと思います。だから私はこれからも友達と気持ちを伝え合っていきたいと思えます。それが私に出来る平和への近道だと思えました。

私たちが、平和な世界をつくりていきます。

電話、メール、SNSでの詐欺

格安広告に注意

電話、SNS、メールなどで連絡があり、お金をもらえるかのようになり、手続き費用と称してお金をだまし取る詐欺が増えていきました。一度支払うと、その後際限なく要求してきます。

また、宝くじを買ってもしないのに「当選しました」と連絡してくる当選商法も同様です。絶対にお金を支払わず、誰かに相談してください。

詐欺をする人はお金を支払わせるため、さまざまな理由を並べ立てます。中には支払わないと逮捕されるというデタラメを言って脅し、支払いを迫る場合もあります。

また、行政機関をかたり、「特別給付金の手続きをしてください」といったショートメッセージやメールが届いた、という相談も増えていきます。

公共機関が給付金の支払いや手続きを促すショートメッセージやメールを送付することはありませぬ。このようなメールを受信した場合、応答することなく、消費生活センターに相談してください。

SNS上で勧誘広告がくることあります。注文しお金も支払ったが商品が届かない、粗悪品が届いた、業者と連絡が取れなくなるといった相談が増えていきます。悪質業者との連絡はSNS上でやり取りすることが多いです。相手が連絡を切ると、交渉すらできなくなります。また、有名な販売サイトとそっくりの表示をする偽サイトに勧誘してくる場合もあります。こういったことがないよう事前にネットで評判を調べて確認しておくのが賢明です。

相談を受け付けています

消費生活センターには、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。詳しくはお問い合わせください。



◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ⑥

【問い合わせ先】菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

うきは市

うきは市吉井町千年の小江の集落の中、北新川沿いの田畑の中にひっそりとたたずむ石塔があります。市指定史跡の正平塔です。この塔が建てられたのは正平18(1363)年。中世の南北朝時代のことです。南北朝時代までさかのぼる石塔は福岡県下でみてもとても古く、貴重な物です。

当時、日本各地で南朝方と北朝方に分かれた地方豪族たちの争いが頻発していましたが、正平14(1359)年、大規模な戦いが勃発します。関ヶ原合戦、川中島合戦と並んで、日本三大合戦とも呼ばれる大原合戦(筑後川合戦)です。筑後川を挟んで両軍10万ともいわれる大軍が戦いました。この戦いは結果として



正平塔

南朝方の勝利に終わり、以降九州は13年間、南朝勢力の支配下となります。

銘文の最後に建立者として刻まれている「調衆」とは、星野氏と、同族の黒木氏、川崎氏の3氏を総称するものです。星野氏をはじめ彼らもまた、南北朝の動乱の中で、多くの一族郎党が犠牲となりました。

願以此功德、普及於一切、我等與衆生、皆共成佛道

正平十八年七月十八日 調衆各敬白

願わくば此の功德を以て普く一切に及ぼし、我等も衆生とともに、皆共に佛道に成ぜん
正平十八年七月十八日 調衆各々敬つて白す

この銘文は法華経の一節で、数多の戦いの中で散っていった南北両軍の全ての犠牲者の供養を願っていることが読み取れます。正平塔には、長年の戦乱を経験した星野氏ら調衆の、平和への願いが込められていたのかもしれないと、石には太古の昔から不思議な力が宿っていると信じられてきました。静かな田畑の中で忘れ去られたようにたたずむ正平塔は、今日も静かに祈りを捧げ続けています。

菊池ファンクラブ
菊池歴史講座 受講生募集

菊池の古代史講座(全5回)

講師 中原 英さん
内容 『狗奴国』の中心はどこか
とき [第4回] 1月28日(土) 午前10時～
ところ 菊池観光交流館
定員 20人
受講料 1講義 2千円
申込期限 1月21日(土)
申し込み先 菊池ファンクラブ
☎0968(25)0513(菊池観光協会内)

※「菊池一族の歴史講座」は休講です
※今回だけの受講も可能です
※申し込み多数の場合は抽選になります

地域おこし協力隊通信 番外編

一協力隊ではどんな活動を? ガラスフュージング(電気炉でガラスを溶かす技法)を楽しむ「キャンディーくらぶ」を発足しました。また、里山の植物にひと手間かけて、器や飾りとして使うおもてなし「てしごとときくち」も展開。人が集う場としてワークショップを中心に活動しました。地域の人にアイデアをいただいたり、温かく協力していただいたことが菊池への定住につながりました。

一ガラス工房「香りgarden」について教えてください。「庭にたくさんの花を咲かせるように、私たちも自分色の花を咲かせようよ」というイメージで、さまざまな色のガラスがとろっと溶け合うような感覚です。私がガラスフュージングをライフワークにしている理由は、そこに集約されています。大人と子どもがつながる企画も増やしていく予定です。出張ワークショップも行っています。

【問い合わせ先】香りgarden
☎090(6757)1219
@wakuwakaori@gmail.com

今月は昨年3月まで「里山文化クリエイター」として活動していた木内香織さんに話を聞きました。
【問い合わせ先】地域振興課 ☎0968(25)7250

河原で小さなガラス工房 始めました!

木内香織さん(大阪府出身)
在籍: H31年4月～R4年3月

Instagram @kaori_garden

